# 東京城南エリアにおける多世代が安心して暮らせる、お互いさま拠点整備事業（仮）

国土交通省
令和3年度 選定提案
事業テーマ：事業育成型

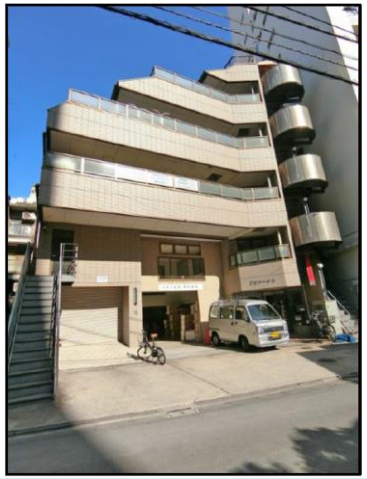
## 「保育拠点」「在宅ケア拠点」を併設した「多世代共生型シェアハウス」を整備の事業実施に向けた、地域との共働・人的ネットワーク強化及び空間整備のあり方を検討する

- 都心部では高齢者数がより一層増加するが、賃貸住宅居住者の割合が高いこと等から、地域におけるつながりが希薄化し、高齢者や子育て世帯が孤独や孤立に陥る問題が生じている。
- 本提案は、東京都市部（城南エリア）において、「保育拠点」、「在宅ケア拠点」を併設した「多世代共生型シェアハウス」を整備し、高齢者や子育て世帯（ひとり親世帯）をはじめ、人と人が繋がる安心した暮らしの場の整備を目指し、事業実施に向けた、地域住民や各種団体との協働、ネットワーク構築・連携の強化、居住スペースと施設スペースを有機的に一体的に整備する改修方法の検討を実施する。

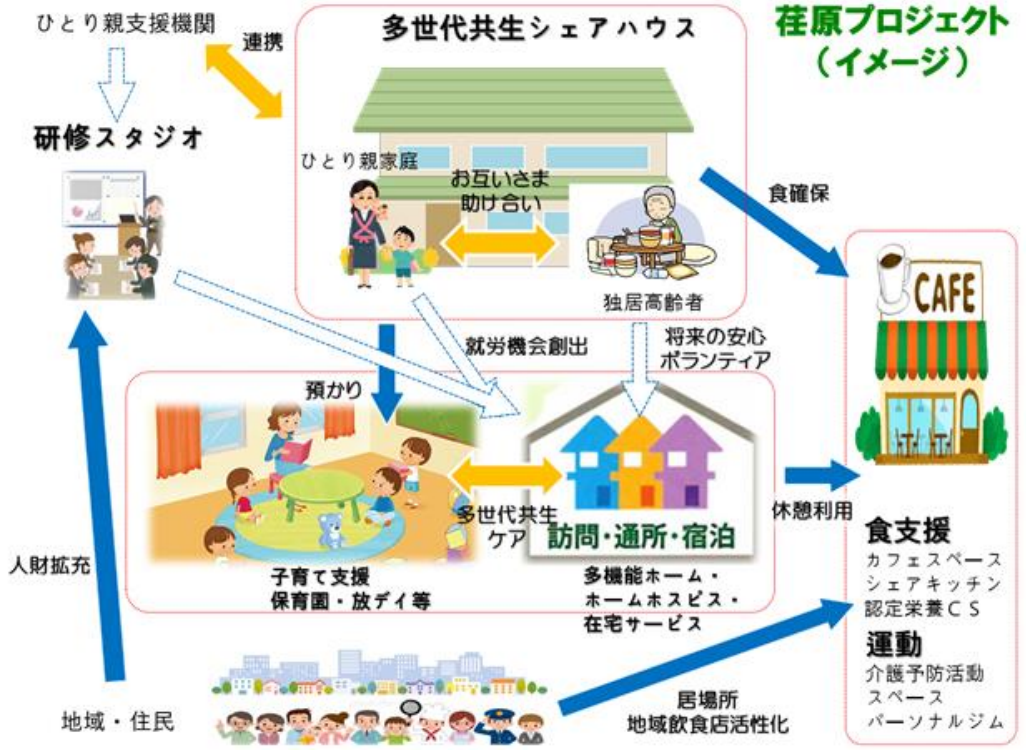
## 事業概要

| | |
|---|---|
| 代表提案者 | 株式会社ケアメイト |
| 共同提案者 | Teco株式会社 |
| 事業実施場所 | 東京都品川区 |
| 事業実施内容 | 技術検証、情報提供・普及 |
| 事業実施期間 | 令和3年12月～令和4年6月 |

**現況写真**



**プロジェクトの連携イメージ**




## 評価委員会での評価内容

- 既存建築物を活用し、単身高齢者とひとり親世帯の共助を引き出す、バランスの取れた提案として評価できる。
- 一方、高齢者と子育て世帯が一緒に暮らすことで、共助・メリットが強調される傾向があるが、実は両世帯にとって負担・デメリットになることもあるため、メリット・デメリットを明らかにする調査企画を工夫してほしい。